



長野県立大学
後援会

会報

2026.3

Vol.14



CONTENTS

1 ご卒業に寄せて—新たな歩みへの願い

長野県立大学 後援会会長 久保 さやか

9年目の春を迎えて 公立大学法人長野県立大学 理事長 佐藤 慎次郎

2 ～金田一真澄学長 ご退任～

退任のごあいさつ 長野県立大学 学 長 金田一 真澄

3～4 卒業・修了おめでとう

令和7年度 長野県立大学 卒業式・長野県立大学大学院 修了式

●卒業生から一言

5 **学生表彰**

6～7 Campus Topics

学生活動

●学園祭

●寮祭

●クリスマスイベント

8～9 進路情報

裏表紙 Information

●後援会事務局より

ご卒業に寄せて — 新たな歩みへの願い

長野県立大学 後援会会長

久保 さやか

ご卒業おめでとうございます。新たな門出を迎えられた卒業生の皆さん、そして温かく支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝い申し上げます。また、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜っております会員の皆様に、深く感謝申し上げます。



歌手・俳優・演出家など幅広く活躍されている美輪明宏さんが、ある対談の中で語られていた言葉を、私は自戒を込め、折にふれて思い出します。「親が子供に伝えるべき一番大切なことは、『自分が弱ったり困ったりしているときに、自分よりもっと弱っている人に思いを馳せられる人になりなさい』、ということね。」という言葉です。苦悩の中にあるとき、私たちはどうしても視野が狭くなり、自分の置かれた環境を恨んだり自分自身を責めたりしてしまいがちです。しかし、そんな時こそ他者に思いやりの眼差しを向け、手を差し伸べられる人であってほしいと願います。人は皆弱い存在であり、だからこそ苦しい経験は優しさへと変わり、人格を育てていきます。ここまで長野県立大学の学びの中で培ってきた他者への共感力・想像力を胸に、これから広い世界へ力強く羽ばたいていかれることを心より願っております。

9年目の春を迎えて

公立大学法人長野県立大学 理事長

佐藤 慎次郎

理事長に就任してはや1年半が経過しました。大学は季節に応じてイベントがついて回るので、月日が経つのが一層早く感じられます。

本学では今春も無事卒業式が開催されました。4年間の課程を終え、はつらつとして社会に巣立ってゆく卒業生たちの姿を見ますと、別れの寂しさよりも頼もしさを強く感じてしまうのは私だけでしょうか。彼らの成長を様々な形で助けていただいた後援会の皆様には心より御礼申し上げます。



大学は卒業式を終えたのも束の間、新年度には新入生が入ってまいります。長野県立大学は今春で開学9年目を迎えますが、ゼロからスタートした本学も教育内容や組織インフラはもちろんのこと、課外活動なども年々充実してきております。例えば、サークルの数も増えて、学園祭は年々盛大になっております。卒業生の数も延べ千人を超えて、県の内外で活躍する卒業生らの声や様子が我々の耳にも届き、先人たちが蒔いた種が順調に育ちつつあることを実感いたします。

開学時の精神を大切にしつつも未来にさらに大きな果実を实らせるべく、教職員一丸となって長野県立大学の発展に努めて参ります。引き続きご支援よろしくようお願い申し上げます。

～金田一真澄学長 ご退任～



2018年4月より初代学長を務められ、2026年3月末をもってご退任されました。

2026年1月30日には、学生や卒業生、教職員、地域の方々が参加される中、金田一真澄学長による最終講義「言葉の仕組みと生成AI」が開催されました。

退任のごあいさつ

長野県立大学 学長 金田一 真澄

後援会の皆さまへの私からのあいさつは、今回が最後となりますが、今まで8年間、本学に対し、本当に温かくご支援していただきましたこと、心より深く感謝申し上げます。

開学前の4年間、長野県内の主だった地域を巡り、2018年に新設される長野県立大学の宣伝に努めたことを懐かしく思い出します。模擬授業も行い、多くの高校生に参加してもらいました。県内高校へも足を運び、校長先生に本学の特徴を丁寧に説明してまわりました。しかしながら反応は今ひとつでした。

そうした不安の中で最初の入試を迎え、1期生となる受験生が、長野県内から、そして全国からやってきました。彼らは、実績の全くない本学に対して、自分たちが本学を創るのだという高邁な志をもって入学してきました。これには、むしろこちらの方が勇気をもらいました。

今、その時のことを振り返ると、新しい大学を創るということは、教職員だけの努力でできることではなく、学生たちの支援があって初めて完成するものなのだ、ということが分かります。また、実績のない本学にご子息やご息女を送り出してくださった保護者の皆さまの度量の広さにも感激しました。

8年経ち、海外から来た留学生たちも元気に学んでいます。今までは中国と韓国の留学生が多かったのですが、今年はイタリアから3名、チェコから1名の留学生が来て、私も彼らに対して一人ずつ個人面談をしましたが、皆日本語が上手で驚きました。これから少子化が進み、大学も厳しい試練の時代を迎えますが、国際化を目指し、世界の大学と協定を結び、交換留学を盛んにすることが本学の進むべき道ではないかと思います。

最後に、私が学長として大事にしてきた10か条を掲げておきます。①学長は哲学を持つべし、②学生を愛すべし、③情熱をもつべし、④常に一流を目指すべし、⑤確かな時代認識と将来を見通す力を持つべし、⑥己の思想・教育理念を常に発信すべし、⑦大学教職員と対話し、活力を与えるべし、⑧学長は強い責任感を持ち、教職員の信頼を築くべし、⑨高校や企業とも密にコミュニケーションをとり、社会の宣伝マンたるべし、⑩学生の教育に情熱が持てなくなったら辞めるべし。

今後とも、後援会のご支援ご協力を、どうかよろしくお願いたします。



金田一真澄学長による最終講義の様子



佐藤理事長(左)金田一学長(右)

卒業・修了おめでとう

＊ ＊ 令和7年度 長野県立大学 卒業式 ・ 長野県立大学大学院 修了式 ＊ ＊

令和8年3月20日（金）に、令和7年度長野県立大学卒業式・長野県立大学大学院修了式を挙行了たしました。ご家族、ご友人が見守る中、金田一真澄学長より学部生は卒業証書、大学院生は修了証書が授与されました。

今後、それぞれのフィールドでご活躍されることを祈念いたします。

学部

グローバルマネジメント学部

グローバルマネジメント学科 173名

健康発達学部食健康学科 30名

健康発達学部こども学科 38名

大学院

健康栄養科学研究科 8名

ソーシャル・イノベーション研究科 6名



●卒業生から一言

大学生活を振り返って

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 大谷 紗衣里

長野県立大学での四年間は、多くの出会いと経験に恵まれた時間でした。

アルバイトや一人暮らしを通して、自ら考え行動する場面が増え、当たり前だった日常のありがたさにも気づきました。家族や友人の支えを実感しながら、少しずつ自立できたと感じています。

学業の面では、海外研修とゼミ活動が特に心に残っています。海外研修では文化や価値観の違いに触れ、言語の違いに戸惑いながらも、伝えようとする姿勢の大切さを学びました。ゼミでのプロジェクト活動では、企業の方々と協力しながら課題に取り組み、計画から実行まですべてを自分たちで進めました。大きな責任を感じながらも、最後までやり遂げられたことは、自分の中で確かな自信となりました。

一人暮らしやゼミ活動をはじめ、日々の小さな挑戦や積み重ねが、少しずつ自分を成長させてくれたと感じています。多くの出会いと経験に支えられた四年間を糧に、これからも挑戦を続けていきたいです。

長野県立大学での4年間を振り返って

健康発達学部食健康学科 北出 沙弥

この4年間を振り返ると、様々な思い出があります。その中でも、海外研修は私にとって大きな経験でした。

高校生の頃から、食や栄養の学科でも留学ができることに魅力を感じていました。アメリカでは、英語を学ぶだけでなく、調理実習を行ったり市場を訪れたり、現地の学生とボウリングや子どもたちとサッカーをしたり、たくさんの思い出ができました。一番の学びは、伝えようとする姿勢が大切であるということです。現地で関わってくださった方は、どの方も私の拙い英語を「上手だよ！」と褒めてくださいました。この経験から、外国人の方と話すことが怖くなくなり、積極的に話せるようになっただけでなく、何事にも挑戦してみようという気持ちになれました。

普段の学生生活でも、食健康学科のみんなと夜遅くまで実験や実習をしていたこと、先生方は授業外の時間でも温かく話してくださったこと、全てが大切な思い出です。4年間の学びを活かし、卒業後も夢に向かって頑張っていきたいです。

幸せすぎた私の学生ライフ

健康発達学部こども学科 荒木 唯伽

幼少期の頃から自分の幼稚園の先生のようになりたいと思い続け、念願叶い入学できた4年前。とんだ宝くじを引き当てたなと学生生活を終えてみて思います。この4年間は、これまでの人生の中で最も充実した期間であり、一生に一度となるいわば人生の夏休みでした。

一言で4年間を表すならば「出会い」。学生生活の中でたくさんの方々と出会い、関わらせて頂きました。私が思うにどの出会いも全てに意味があり、なるべくして出会いがあったなと思います。それまでは、出会いは偶然とばかり思っていました。多くの出会いを経て、必然と思うように。この大学で、この学科で、この仲間たちと先生方と出会えて良かったと心から叫べます(^.^) 控えめに言っても、大好きです。この場をお借りして感謝申し上げます。4年間、本当にありがとうございました。

学生表彰

学長賞

在学期間を通じ、学業成績が最も優秀であった者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科

22G030 大谷 紗衣里
22G064 齋藤 七生

健康発達学部食健康学科

22F011 佐野 友梨

健康発達学部こども学科

匿名希望

大学院 健康栄養科学研究科

22H005 中崎 衣美

大学院 ソーシャル・イノベーション研究科

24S005 関 哲郎

理事長賞

4年間を通じ、特に優れた活動により本学の名誉を高めた者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科

22G128 八田 登生

健康発達学部食健康学科

上延研究室・稲山研究室

(上延研究室)

22F003 今村 仁美

22F010 佐藤 彩葉

(稲山研究室)

22F004 岩島 愛鈴

22F017 西條 晴菜

22F022 不破 愛菜

今村ゼミ

22F021 藤松 あい

22F001 石原 美晴

22F032 横井 美優

健康発達学部こども学科

山本ゼミ

22C038 松下 怜

22C035 保科 幸千

22C018 西面 水晶

22C039 松山 睦



学 生 活 動

●学園祭

FUN と驚きに満ちた2日間

2025年度学園祭実行委員長 菅野 煌世

長野県立大学学園祭「FUN2025」実行委員長を務めました、菅野煌世と申します。

去る11月1日・2日、皆様の温かいご支援のもと、学園祭を盛大に開催できましたことを心より御礼申し上げます。

今年度のスローガン『fanfare (ファンファーレ)』には、学生と来場者の皆様の声が響き合い、笑顔が広がる祭りになればという願いが込められています。当日は、各ゼミやサークルによる発表、飲食出店、そしてフィナーレのスカイランタンなど、学生一人ひとりの情熱と創造性がキャンパス中に溢れる2日間となりました。

後援会の皆様には、準備段階から多大なるご協力を賜り、深く感謝申し上げます。この熱気と経験は、来年度の後輩たちへと引き継がれ、さらに魅力的な学園祭へと進化していくと確信しております。来年度以降も学生たちの挑戦へ、変わらぬご支援をよろしくお願いたします。



来年度学園祭への意気込み

2026年度学園祭実行委員長 中城 崇文

後援会の皆様、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。来年度の学園祭「FUN2026」の実行委員長を務めさせていただきます、中城崇文と申します。

学園祭は、私が長野県立大学に入学した理由の一つでもあります。

三年前、ある先輩が「このままでは、やらないことが伝統になってしまう」との強い思いから、新しい大学であることや新型コロナウイルスの影響により消えかけていた学園祭を、ゼロから作り上げました。その姿に私は大きな感銘を受けました。

その先輩が築き上げた学園祭を、これからも大切な伝統としてつないでいきたいという思いから、今回、実行委員長を引き受けました。

学園祭は、大学での学びやサークルなど課外活動の成果を発表する、学生にとって大切な表現の場でもあります。来年度の学園祭が、学生にとって成長の機会となるよう実行委員一同取り組んでまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●寮祭

象山フェスタ ―地域とつながる寮を目指して―

寮祭実行委員長 仲二見 美鈴

11月22日土曜日に象山寮にて、象山フェスタを行いました。以前までは寮祭という名前でしたが、今回は象山フェスタという名前で新たなスタートを切るという気持ちを込め、準備を進めてきました。「食を通じた地域交流」をテーマとし、焼き芋や、炊き出し、縁日やビンゴ大会などの企画を行いました。学生と地域の方々との交流が深まるきっかけになるように、自治会の方のアドバイスや誰もが楽しめるということを意識し、企画を考えてきました。当日は天気にも恵まれ、幅広い世代の方々にお越しいただくことができました。楽しんでいただけている様子や寮生と地域の方との交流が見られ、とても嬉しかったです。この象山フェスタをきっかけに、より地域との交流が深まっていくことができたらと思います。ご近隣の住民の方々や自治会の方々のご協力に心から感謝申し上げます。



●クリスマスイベント

クリスマスイベントを通して感じたこと

RA (レジデントアシスタント) 石崎 姫香

クリスマスイベントの準備では、限られた日程の中で企画内容を固めることが最も大変でした。上映作品の著作権確認やビンゴ景品の選定、会場レイアウトの調整などの作業と学業との両立にも苦労しました。それでも、寮生の意見をインスタ投票で取り入れたり、ビンゴ大会で音声読み上げ機能を活用したりと、参加者が楽しめる工夫を意識して進めました。当日は予想以上に多くの寮生が参加してくれ、ユニットを越えて盛り上がる姿が見られたことが印象に残っています。特に1年生が楽しんでいる様子を見たときは、準備の大変さが報われたように感じ、企画してよかったと強く思いました。イベントを通して、普段関わる機会の少ない寮生同士が交流する様子を見ることができたのも嬉しい点でした。来年に向けては、早めに枠組みを作り、役割分担や進捗状況の共有を丁寧に行うことで、よりスムーズな運営ができると感じました。



進路情報

●任期を終えて

キャリアセンター長 大南 匠



この3月末日をもちまして、キャリアセンター長の任期を終えることとなりました。一期生の就職率100%という実績を残した直後での就任であり、大きな責任とプレッシャーを感じながらの船出となりました。在任中は、新型コロナウイルス感染症への対応や三省合意に基づくインターンシップ制度改正など、就職環境の変化に即した支援に取り組んでまいりました。同時に、就職アドバイザー制度の充実やカウンセラーとの連携強化など、これまでの取り組みを定着・発展させることに努めました。

キャリアセンターでは、学生一人ひとりに必要な支援を的確に届けるべく日々検討を重ねております。今年度は、センターをより身近に感じてほしいとの思いから、キャリアカフェなど新たな試みにも取り組みました。

このような取り組みを重ねることができたのは、学内外の関係者や後援会、企業・団体の皆様のご支援、そして真摯に将来と向き合う学生の理解と協力、さらにセンター職員の日々の尽力によるものです。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

●5期生の進路状況 (主な就職先・進学先※敬称略) 2026年3月16日時点のデータです。最終決定版ではありませんのでご了承ください。

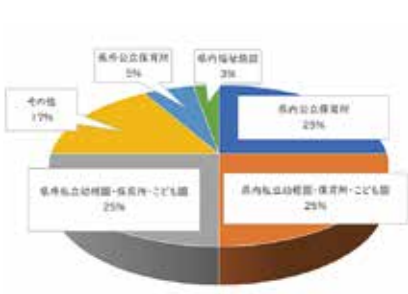
グローバルマネジメント学科	食健康学科	こども学科
---------------	-------	-------



アクセント/日本ビューレット・バックカード/東京海上日動火災保険/八十二長野銀行/みずほ証券/セイコーエプソン/竹内製作所/オリオン機械/新光電気工業/キッセイ薬品工業/伊那食品工業/伊藤忠アピエーション/テレビ信州/星野リゾート/クラブツーリズム/JTB/中部電力/北野建設/マイナビ/関東信越国税局(国税専門官)/特別区/長野県/長野市/長野県警察/法政大学大学院/長野県立大学大学院



【医療】篠ノ井総合病院/伊那中央病院
 【公務員(管理栄養士)】八王子市/長岡市/長野県
 【教育機関(栄養教諭)】長野県
 【食・健康関連企業】アスザックフーズ/長野サンヨーフーズ/バイホロン
 【給食受託】イートランド
 【その他】キッセイ薬品工業/中野区(行政職)/長野市(行政職)



【県内公立保育所】須坂市/安曇野市/諏訪市/伊那市
 【県内私立幼稚園・保育所・こども園】長野日本大学幼稚園/須坂二葉幼稚園/北條こども園/信学会
 【県外公立保育所】中之条町(群馬県)/豊橋市(愛知県)
 【県外私立幼稚園・保育所・こども園】あそびの森あきわゆう(東京)/パイオニアキッズ(東京)
 【県内福祉施設】園福寺愛育園
 【その他】長野県信用保証協会/佐久市(行政職)

●内定者インタビュー



グローバルマネジメント学部 4年 名取 侖衣 さん

内定先：セイコーエプソン株式会社

社会人としての一步を踏み出すにあたり、目の前の業務ひとつひとつに誠実に向き合い、基礎を大切に積み重ねていきたいと考えています。また、社会の一員としての自覚と責任感を常に持って行動していきたいです。日々の業務を通して経験を重ね、自分にできることを着実に増やせるよう努力を重ねるとともに、周囲との関わりを大切に、感謝の気持ちを忘れず、信頼される社会人へと成長していくことが目標です。

●「県内企業見学バスツアー」実施報告

11月19日（水）、学生の視野拡大と仕事理解を目的とした「県内企業見学バスツアー」を実施し、学生約25名が参加しました。

今回はセイコーエプソン株式会社様と伊那食品工業株式会社様を訪問しました。セイコーエプソン様では、社内見学に加え卒業生から進路選択のアドバイスをいただき、伊那食品工業様では「かんでんぱぱガーデン」の案内を通じ、企業の理念や環境づくりを学びました。

参加学生からは「就活への視野が広がった」と手応えを感じる声が寄せられました。ご協力いただいた両社の皆様に深く感謝申し上げます。

今後もキャリアセンターは、学生の挑戦と「なりたい自分」への一步を支援してまいります。

●卒業生インタビュー

京王電鉄株式会社 開発企画部 営業担当 門脇 大真 様

グローバルマネジメント学部 2022年3月卒業

私は現在、鉄道会社で不動産の仕事に携わっています。幅広い不動産事業の中でも分譲マンションやホテル用の土地の仕入れ、将来性のあるオフィス等の取得・売却を担当しています。物件の価値の計算や契約書を作成といった目に見える仕事だけでなく、現地での建物状態の確認などの泥くさい仕事も多いです。1つのプロジェクトが数年で完結するこの仕事では、手触り感がある上に自分が物件を取得することが直接会社の成長につながるため、再開発などとはまた違ったやりがいを感じております。

私自身、大学や大学院では建築や不動産などの今の仕事に直接役立つような専門分野は学んでいませんでした。しかし、学んだ経済学や経営学、数理社会学の考え方が、様々な場面で役立っていると感じています。例えば、各物件には会社と同じように損益計算書が存在し、これを読み解くことから物件価格の試算がスタートします。他にもマーケット内でその物件のポジションを分析することで、なぜ今その物件を取得することに会社として意義があるのかを社内に説明できています。専攻と畑違いの分野に飛び込むことへ不安を感じたとしても、意外なスキルや経験が生きることもあるので飛び込んでみると楽しいかもしれません！



Information

●後援会事務局より

今年度、後援会より長野県立大学図書館へ寄贈した本の一部をご紹介します。

専門書は、主に大学教員が選書していますので、一般書籍を図書館司書の方に選んでいただき、寄贈いたしました。多くの学生も利用しているようです。

* 寄贈した本紹介 *

- ・「ウチの江戸美人」 いずみ朔庵
- ・「架空犯」 東野圭吾
- ・「季語を食べる 地球の恵みを科学する」 尾池和夫
- ・「恋とか愛とかやさしさなら」 一穂ミチ
- ・「ゴールデンカムイ 絵から学ぶアイヌ文化」 中川裕
- ・「最後の秘境東京藝大 天才たちのカオスな日常」 二宮敦人
- ・「JK、インドで常識ぶっ壊される」 熊谷はるか
- ・「人魚が逃げた」 青山美智子

他32冊



学費あるいは授業について等、ご不明な点、ご相談など下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること

学生サポートセンター教務第一係

kyomu@u-nagano.ac.jp

★学生生活・学費等に関すること

学生サポートセンター学生支援係

gakusei@u-nagano.ac.jp

★後援会に関すること

学生サポートセンター学生支援係

gakusei@u-nagano.ac.jp

長野県立大学後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪8丁目49番地7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会

検索

